

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。	A	A	A	授業に積極的に取り組んでいる生徒の割合は高いが、家庭での学習状況は期待通りではない。家庭学習に取り組ませる工夫が必要である。運動部・文化部の積極的な活動を今後も学校全体で推進していく。	自己育成能力の向上として、自分で学びたくなる授業の工夫をして欲しい。部活動での活躍を通して、教育の質や充実度がしっかりと伝わっている。	授業に積極的に取り組んでいる生徒の割合は高いが、家庭での学習状況は期待通りではない。家庭学習に取り組ませる工夫が必要である。運動部、文化部とも上位大会で活躍した。充実した部活動ができるよう学校全体で推進する。
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	A	A	A	学習につまづきのある生徒の実態を把握し、個別指導を行うなど対策を行う。きめ細かく丁寧な指導を実践し、学力向上を目指していく。難易度の高い資格取得に挑戦する生徒のための支援体制を整えていく。	取得した様々な資格が職場でも生かされているので、今後も人材育成を継続して欲しい。生徒指導あつての学習指導である。しっかりと生徒指導を今後も継続し、最低限の桐商としてのレベルを保った指導をしていくとよい。個性を認めることも大切であるが、悪いものは悪いと教えることが大切である。マナーアップは、玄関から玄関までのマナー向上を目的に作られたものであることを再確認し、交通安全指導の徹底をお願いしたい。命の落とすことのないように、自転車での交通マナーの向上をお願いしたい。	学力向上のため、きめ細かく丁寧な指導を粘り強く繰り返していく。資格を取得することが、進路選択の幅を広げる事を意識させ、資格取得も可能な授業の工夫、改善を行っていく。生徒会が主体的に各種行事で取り組める環境作りや改善を進めていく。毎朝の登校時指導や集会時に挨拶やマナーに触れることにより、生徒の意識が高まっている。今後も継続して実施していく。
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。	A	A	A			
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。	B	D	C			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	A	A	A	支援を必要とする生徒について情報交換を行い、スクールカウンセラー、教育相談等との連携を密にしていく。毎朝の登校時指導や集会時に挨拶やマナーに触れることにより、生徒の意識が高まっているので、今後も継続して実施していく。施設委員を活用し校内巡視や点検、清掃用具の整備等を行い、校内の美化活動の推進を図っていく。		
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。	A	A	A			
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。	A	C	B			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑩家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	A	A	A			
		⑪挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。	A	A	A			
6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑫「学校は、いじめ防止や早期発見に向けて取り組みを積極的に行っている」と認識している生徒が	A	A	A	いじめは問題の把握が難しいが、アンケート等を利用し、早期発見・早期対応を心がけ、いじめの芽を摘んでいく。	SNSの利用について、子ども達に考えさせる必要があると思う。いじめ問題の把握が難しくなり、大変だと思うが、対応をしっかりと行い、十分な見守り体制を整えて欲しい。	SNSの利用など、情報モラル教育を強化していく。今後もアンケートや面談等はいじめを早期発見し、問題が大きくなる前に芽を摘んでいく。	

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	A	A	A	1・2年生を対象とした進路ガイダンスや3年生が自らの進路体験を語る会を実施し、低学年から進路の意識を高める取り組みをしていく。 また、「進路たより」の発行を今後も継続して行い、進路に関する情報発信を行っていく。 挨拶をはじめ社会人としての心構えなど学校生活全般から学ばせる指導を継続し、意識付けを図る。	進路先での定着率を把握するのは難しいと思うが、追跡調査をしてもよいのではないか。 進学指導だけでなく公務員試験の対策等、きめ細かい指導を行っている様子が見えてくる。今後も生徒の進路実現のため継続して欲しい。	1・2年生の進路意識を高めるため、今後も情報発信や進路計画を学年団と連携して進めていく。 地元企業について知る機会であるビジネスマッチングフェアの参加に際し、企業に関しての理解を深めるため事前学習の充実を図る。
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	A	A	A			
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関係について真剣に考えている生徒が80%以上である。	A	A	A			
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。	A	A	A	保護者会の出席が、1学年234/241で97.1%、2学年224/233で96.1%、3学年231/239で96.7%であった。生徒への配布物の周知等、ふれあいメールの活用をしていく。 商業科の授業で実施した「地域連携課題解決プロジェクト」や学校行事、生徒の活躍の様子などを積極的にホームページに掲載し、情報発信を行っていく。	PTA役員が中心となり、先生方の意見を交換しながら、よりよいPTA活動ができるようにしたい。	学校行事や生徒の活躍の様子をホームページに掲載し、情報発信を継続して行っていく。 オープンスクールでの読み聞かせの会やカルチャー教室でのクリスマスケーキ作り等を通じて地域との交流を図っていく。
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。	A	A	A			